
咲いて散る華

雪月 蒼風

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

咲いて散る華

【Nコード】

N6559C

【作者名】

雪月 蒼風

【あらすじ】

脳裏の白い薔薇が

人生が路だとしたら？

初めて歩く路だ。一見真つ直ぐに続いているようにしか見えない。けれども体の感覚がまもなくスクランブル交差点の様な十字路に差し掛かることを告げている。

ロジックがとけているので、行く方向はわかっている。ここである程度の荷物を捨てていくことを。

また良く似た荷物を持つことになることは解っているのにいまは単純に嬉しいのだ。

白き薔薇のロジックは、そう遠くはないはずだが待てどまだとけない。

白き薔薇のロジックが解ける時、その時の為になにをしよう。

白薔薇のカードに“w i l l”として一言書いておこうか？文句はやっぱり

Thank you

とでもしようか？

BGMは何にしよう。

クラシック？ジャズ？それとも季節にあったバラード？

アクセサリーにはアメジストがいい。

渡りたいのだがまだ準備中らしい。今回のロジックの路ですら渡れない。渡れない。人生は咲いては散る花だ。岐路で咲いた青き花は散り紅い種となり、また青き花となる。

人の出会いも同じく。出会いそれぞれに花を咲かせ、岐路に立ち別れ花を散らす。

散りゆく華こそ美しい。

そして今日も一人 引きの美学で花を愛でる。

いつかは若く蒼き春には嫉妬しながら、強く激しき夏はどこか憧れ、実り乾いた秋には静寂に、白く強き冬に夢見、脳裏に白き薔薇を描きながら死の永遠の淵に深く深く沈むまで。

咲いて散る華

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6559c/>

咲いて散る華

2011年1月16日03時02分発行